

所属	人文科学系	職名	准教授	氏名	長井栄二	記載年月日 (和暦)	平成28年10月31日
<b>I 主な教育活動</b>							
<b>I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)</b>							
(平成26年度)公開講座(8月, 秋田高専)							
<b>I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)</b>							
(平成26年度)水泳競技・200m個人メドレー・100m平泳ぎ1位, 200mバタフライ2位, 100mバタフライ3位(第51回東北地区高専体育大会)							
(平成27年度)水泳競技・男子200m個人メドレー1位, 800m自由形2位, 200mバタフライ・100m平泳ぎ・100mバタフライ3位(第52回東北地区高専体育大会)							
(平成28年度)水泳競技・男子800m自由形・200m個人メドレー・200mバタフライ・400m自由形・100m平泳ぎ2位, 100mバタフライ3位(第53回東北地区高専体育大会)							
<b>I-3 その他の該当事項(過去3年)</b>							
(平成24年度)国立高等専門学校機構在外研究員(ドイツ近現代農村地域開発に関する研究, 平成24年3月～平成25年3月, ドイツ連邦共和国メクレンブルク・フォアポンメルン州グライブスヴァルト市)							
<b>I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)</b>							
(平成26年度)クラス担任(1年物質工学科), 安全衛生管理委員会, 学生委員会, 学生相談室員							
(平成27年度)クラス担任(1年物質工学科), 安全衛生管理委員会, 寮務委員会, 学生相談室員							
(平成28年度)クラス担任(2年物質工学科), 学級担任学年代表, 安全衛生管理委員会, 学生委員会, ハラスメント相談窓口相談員, 学生相談室員							
<b>I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)</b>							
(平成26年度)水泳部, 山岳部							
(平成27年度)水泳部							
(平成28年度)水泳部							
<b>II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上. 専攻科様式第5号形式とする)</b>							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
<b>II-1 (学位論文)</b>							
1. 大不況期プロイセンにおける農村地域政策論の形成(博士論文)	単著	平成11年3月	東北大学				
2. 世紀転換期ポーゼンの「有機的労働」(修士論文)	単著	平成8年3月	東北大学				
<b>II-2 (著書)</b>							
<b>II-3 (学術論文)</b>							
1. 大不況期ドイツ社会政策学会における農村地域政策論	単著	平成25年3月	西洋近代における分権的統合 その歴史的課題(小原豊志・三瓶弘喜編), pp. 3～40				
2. 大不況期プロイセンにおける農村地方制度改革構想の形成	単著	平成10年4月	歴史第90輯, pp. 25～55				
3. 第二帝制期プロイセン東部における地方制度改革問題とゲマインデ自治	単著	平成8年11月	西洋史研究新輯第25号, pp. 102～125				
<b>II-4 (研究紀要)</b>							
1. 第一次大戦前ボンメルンの植民組合と土地会社(3)	単著	平成28年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要第51号, pp. 45～52				
2. 第一次大戦前ボンメルンの植民組合と土地会社(2)	単著	平成27年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要第50号, pp. 65～70				
3. 第一次大戦前ボンメルンの植民組合と土地会社(1)	単著	平成26年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要第49号, pp. 76～84				
4. 「大不況」期プロイセンにおける農村地域政策論の形成(2)	単著	平成19年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要第42号, pp. 66～73				
5. 「大不況」期プロイセンにおける農村地域政策論の形成(1)	単著	平成18年2月	秋田工業高等専門学校研究紀要第41号, pp. 63～70				
<b>II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと</b>							
<b>II-6 (国内学会等発表)</b>							
1. 第一次大戦前ボンメルンにおける公益的農村植民	単著	平成26年3月	経済空間史研究会会報第13号				
2. 合評:佐藤政則著『比較連邦制史研究』	単著	平成22年9月	政治経済学・経済史学会東北部会報告				
3. 第二帝政期プロイセンの農村地域問題と内地植民政策	単著	平成19年3月	経済空間史研究会第6回研究報告会会報				
4. 大不況期プロイセンにおける地域政策の形成過程	単著	平成14年3月	経済空間史研究会第1回研究報告会会報				
5. 大不況期におけるプロイセン内地植民政策の形成過程	単著	平成13年10月	2001年度土地制度史学会秋季学術大会報告要旨, p. 42～43				
6. 大不況期ドイツ社会政策学会における農村地域政策論の形成	単著	平成11年11月	1999年度西洋史研究会大会(報告要旨集)				
7. 「新航路」期プロイセン東部農村における地方制度改革問題とゲマインデ自治	単著	平成9年5月	社会経済史学会第66回全国大会報告要旨集				

II-7 (解説・総説)				
1. 書評:加藤房雄著『ドイツ都市近郊農村史研究―「都市史と農村史のあいだ」序説―』	単著	平成18年4月	歴史第106輯, pp. 144~152	
1. 紹介:Klaus Heß, <i>Junker und bürgerlicher Großgrundbesitzer im Kaiserreich.</i>	単著	平成6年11月	西洋史研究新輯第23号, pp. 142~149	
II-8 (特許)				
II-9 (その他)				
III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)				
III-1 競争的資金の名称				
(平成19年度)秋田工業高等専門学校校長裁量経費(平成19年4月, 高専における環境史研究の枠組みづくりのための研究①)				
(平成20年度)秋田工業高等専門学校校長裁量経費(平成20年4月, 近代ドイツ農村史研究と環境史教育)				
(平成21年度)秋田工業高等専門学校校長裁量経費(平成21年4月, 高専における環境史教育の導入と社会科教育の枠組みづくりのための研究(②))				
(平成22年度)秋田工業高等専門学校校長裁量経費(平成22年4月, 近代ドイツ農村史研究と環境史教育②)				
(平成24~25年度)国立高等専門学校機構在外研究員経費(ドイツ近現代農村地域開発に関する研究)				
(平成28~30年度)日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(近現代ドイツにおける地域政策と戦後日本の東北農村開発―定点観測的比較史研究の視座)				
IV 学会等及び社会における主な活動				
IV-1 所属学会(記載時)				
(平成27年度)史学会, 社会経済史学会, 政治経済学・経済史学会, 西洋史研究会, 東北史学会, 経済空間史研究会				
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)				
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)				
IV-4 その他の該当事項(過去7年)				
(平成28年度)秋田大学教育文化学部非常勤講師(西洋史概論, 西洋国家史論)				
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)				
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記				
(平成26年度)社会経済史(専1生産・環境), 事業経営論(専2生産・環境)				
(平成27年度)社会経済史(専1生産・環境), 事業経営論(専2生産・環境)				
(平成28年度)社会経済史(専1生産・環境), 事業経営論(専2生産・環境)				
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記				
(平成25年度)現代社会(1M, 1E, 1C, 1B), 人類史Ⅱ(3C, 3B), 社会と文化(4M, 4E, 4C, 4B)				
(平成27年度)現代社会(1M, 1E, 1C, 1B), 人類史Ⅱ(3C, 3B), 社会と文化(4M, 4E, 4C, 4B)				
(平成28年度)人類史Ⅰ(2E, 2C, 2B), ドイツ語(4M, 4E, 4C, 4B), 社会と文化(4M, 4E, 4C, 4B)				